



お前に抵抗する
権利なんてないんだよ

足枷

あし

かせ

「人妻はいつも
調教される運命に」

凌辱
支配

36P

割れ目



結婚・新居・新生活
これ以上ないほどに
私は幸せな気持ちで
満たされていた

でも…そんな
気持ちになれたのは
数日間だけで…

おはよう
奏ちゃん

402

この男によって
それは甘い幻想だったと
思い知らされた

いや、
今日も暑く
なりそうだねえ

ズリ

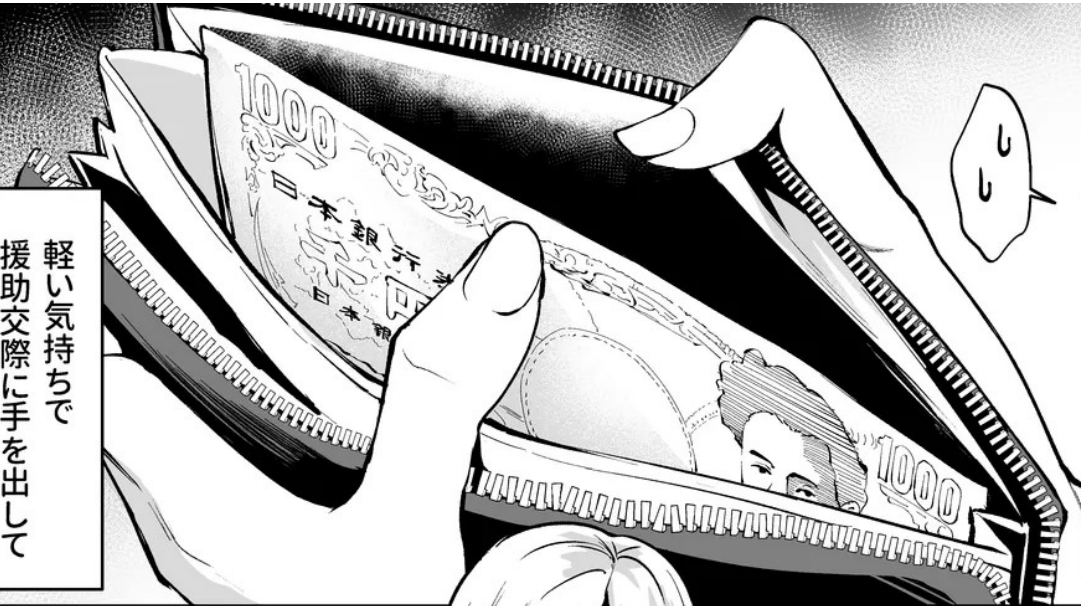
ズリ

あれはまだ私が
大学生だった頃

どうしても欲しい服が
あったけどお金が無く

し
し

軽い気持ちで
援助交際に出して
しまった時の事



どうも

あの時は彼氏も
いなかったし...

だけど
覚えているのは

こんなに!?

足りない?

お金はかなり
貰えた事と

周りも皆やってるから
程度にしか考えてなかった

よろしく

安堂です

私がされた事

でもあれは



消し去りたい過去

彼は援助交際なんか
どうでもよくて

単にペットや
オモチャの類いが
欲しかっただけ

段々と身も心も
支配されていく
恐怖に包まれ





そんな…
満身創痍の時に

あの…



私は逃げだした

カッパ…



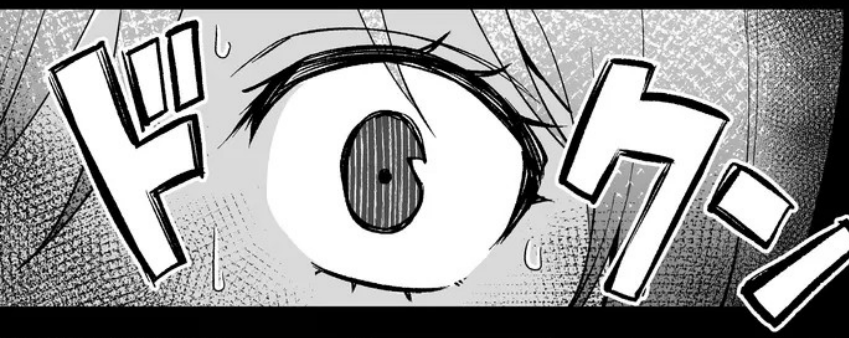
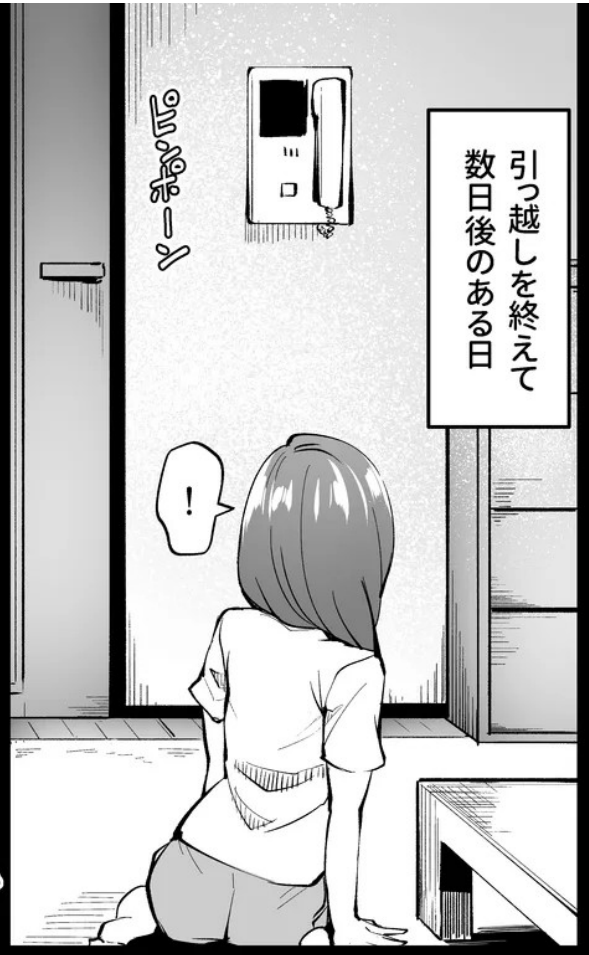
後の旦那となる
彼と出会い

大丈夫ですか？



昔の事は忘れて
幸せになろうって思った

数年後
結婚した





私は過去の
動画や写真で脅され

また古い動画が
出てきたんだよ
覚えてない？



ねえってば

また言いなりの
オモチャにされている

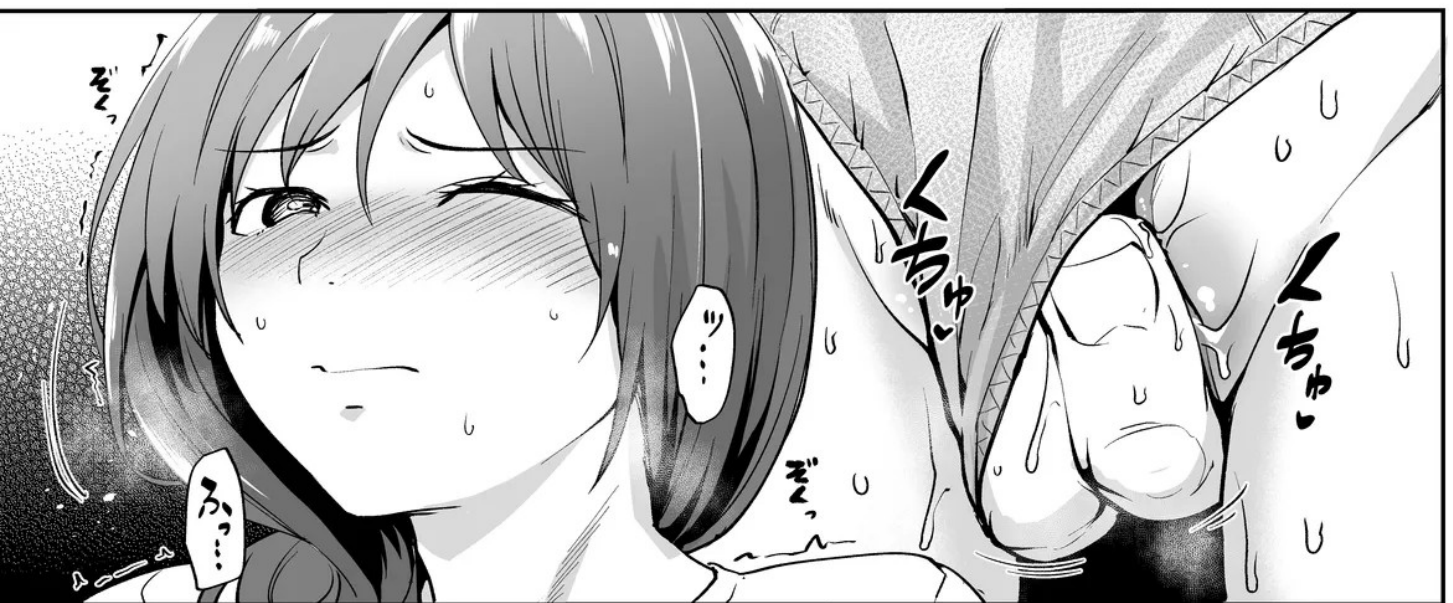
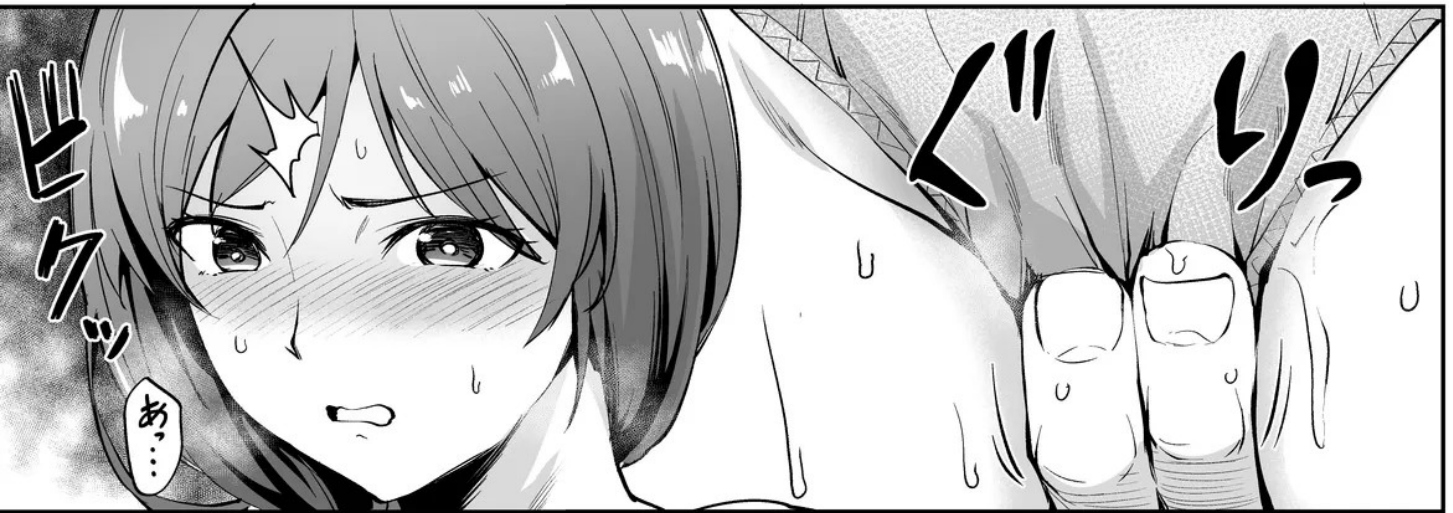
13



あら管理人さん
こんにちは

どうも

ドキッ





翌朝

今日は遅いから
夜は食べて帰るよ

体調悪かったら
ちゃんと休んでね

私がお慢さえ
してればいいよね...

ありがとう康晴さん
行ってらっしゃい

カカ

.....

こんな事
誰にも相談
できない...

康晴さんには絶対
バレないようにしないと...

ピンポン

はい...

こんにちは
浦川さん

ッ...!!
何ですか

遊びに来たよお
部屋に入れてくれない?

何でこう
なったんだろ...

なっ...!!
嫌ですっ...!!

うーん
そうかあ...

チチャン

これは管理人が
持ってる鍵だよ

おいおい
そんな驚かないで
くれよお

え……っ

ズツ

じゃあ勝手に
お邪魔しようかな

か〜な〜で〜ちや〜ん

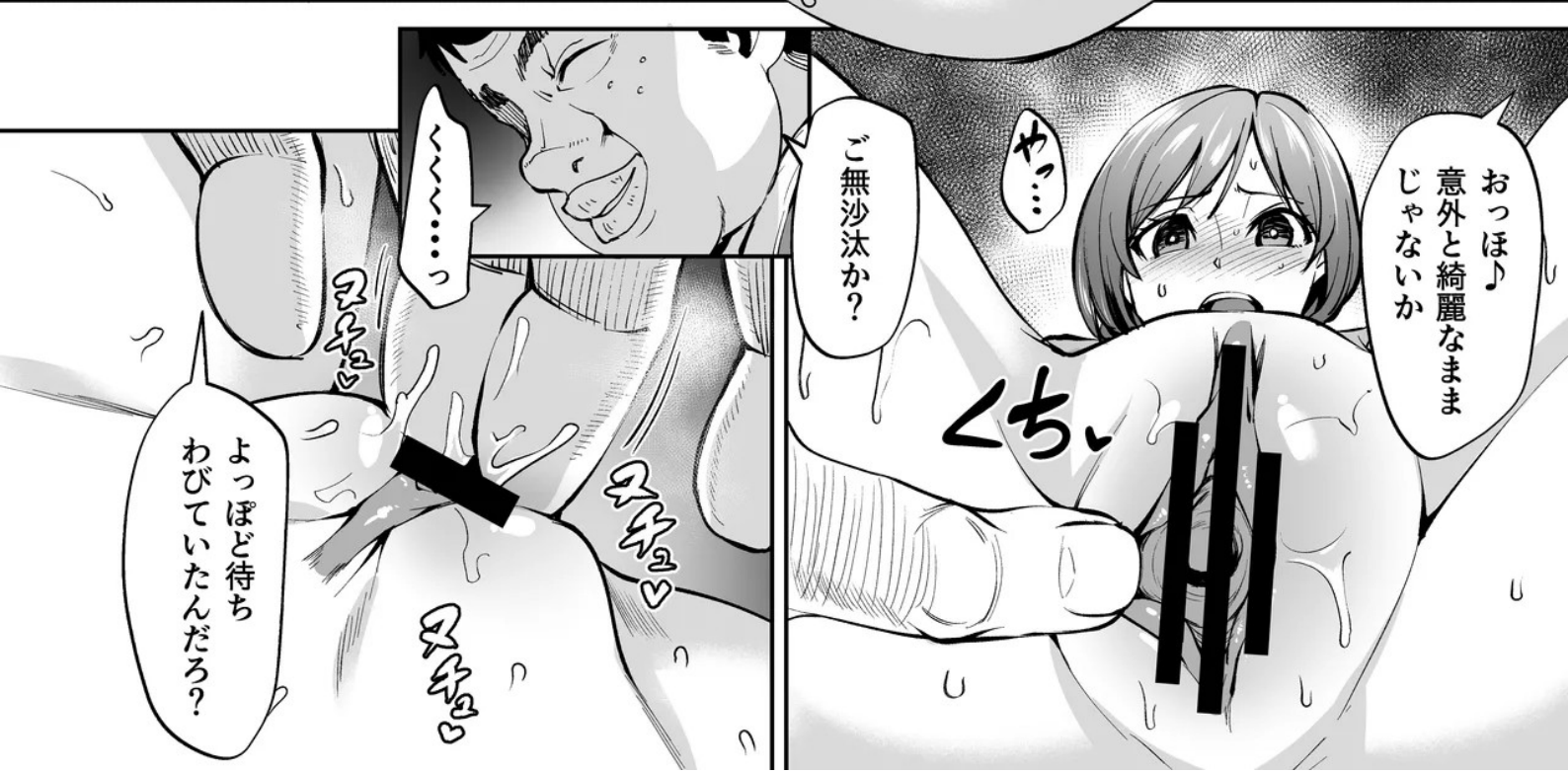
ギギギギギギ……

ああ……

一緒に
遊びましょ〜

やっぱり
無理なんだ……

びびん……





やめ……てっ

私は……
もうあの頃の
私じゃないんです
バカにしないで!



中もほぐれて
ないなあ……

ま……いじれば
すぐ濡れ……



痛いだろ



ちょ……ッ!!

何出して……!!

無理!ダメ!
それは……っ!

ぽろん



まったく……
飼い犬に手を
噛まれるってどこか





何だ？
我慢してるのか？
本当はイキたいんだろ？

ガク

ガク

ガク

ッ……！



やっぱり……っ
あの人より全然……
違うッ……！

ズッ



も……っ早く……！
終わって……！

あ

あ

ぐいっ

おち
おち
おち

よしっ
久々の再開と……

結婚のお祝いに
中出ししてやる
からなっ！

うそっ……！？
ダメ……そんなのっ
絶対ダメだから！

オラッ!
味わえ!

あああ...

ああッ

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ズッ

ズッ



んん...
中...

んん

ハッ...



結局イカなかったか
まあ今日の所はいいさ

フウッ



ふう...
出た出た

ヌリ

ヌリ

ふう...

ふう...



あれは...っ
安堂さんが
そう言うから...!!

前もそうだった
じゃないか



フンッ
どうせ今でも
ピル飲んでるんだろ?



—っ

—で



まあいい
ちゃんと掃除しろよ
俺の精液の臭いが
充滿してるぞ
じゃあな



奏っ！

えっ？
何……？

どうしたんだよ
ボーっとして……

ちよっと
考え事してて……

カチ……



明日休みだろ？
気分転換に
デートしないか？

そうだね……

あつ……
ごめん明日は……
友達と行くところが
あつて……

そうか……
じゃあまた
今度だな

ごめんね……

アキ

やっぱりお前の
フェラチオは最高だ
まあ俺が仕込んだ
テクだな

1回出せば
満足するでしょ...
さっさと終わらせて
帰ろう...

あはは
くほっ

オラッ
出すぞっ
今日一発目ッ!!

一滴も
零すなよッ!

ぶわん

ニニニニ

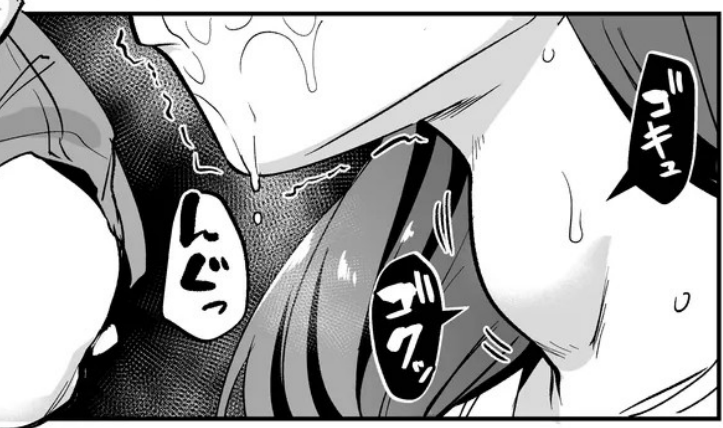
よーしいい子だ
口の中見せてみる

ぐわ...

ひん

ひん

ひん!!
てひゅ





ちよっ……っ
コレ小ぢ……

しかしまあ
よくもそこまで
胸も育ったもんだ

ッ……!

むぎゅっ

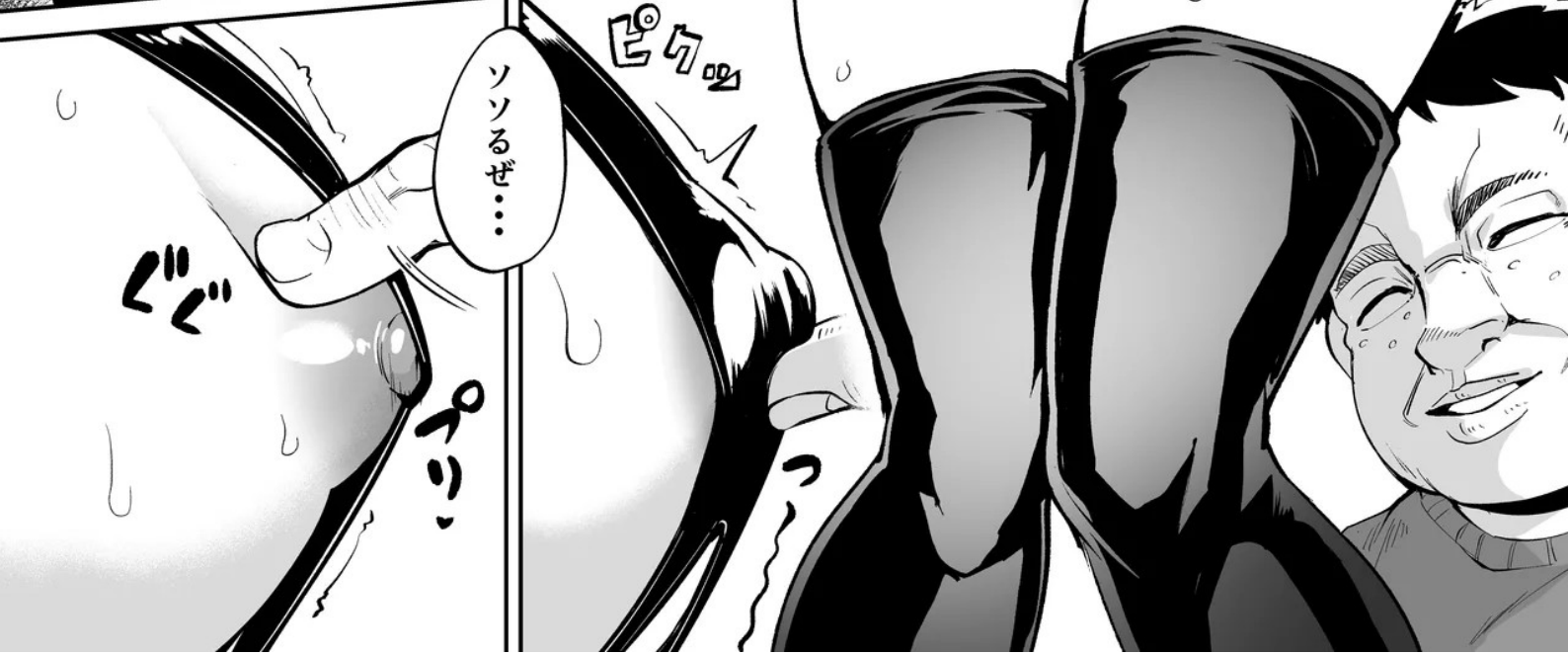


たまんねえ
なあ……

ッ……

たゅん

そりゃそうだろう
あの当時から
やつだからな



ソソるぜ……

ピクッ

クッ

クッ



このデカチチを
存分に味わえるかと思ふとよっ!

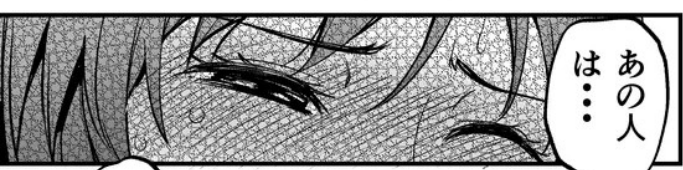
びっ!

チキ



びっ!

びっ!



あの人
は...



ちゅるる



お前の旦那も
これ目当てだろ?

ちゅぼ

違っ...

びっ

びっ

びっ

びっ



お前の体は
何回味わっても
飽きないな

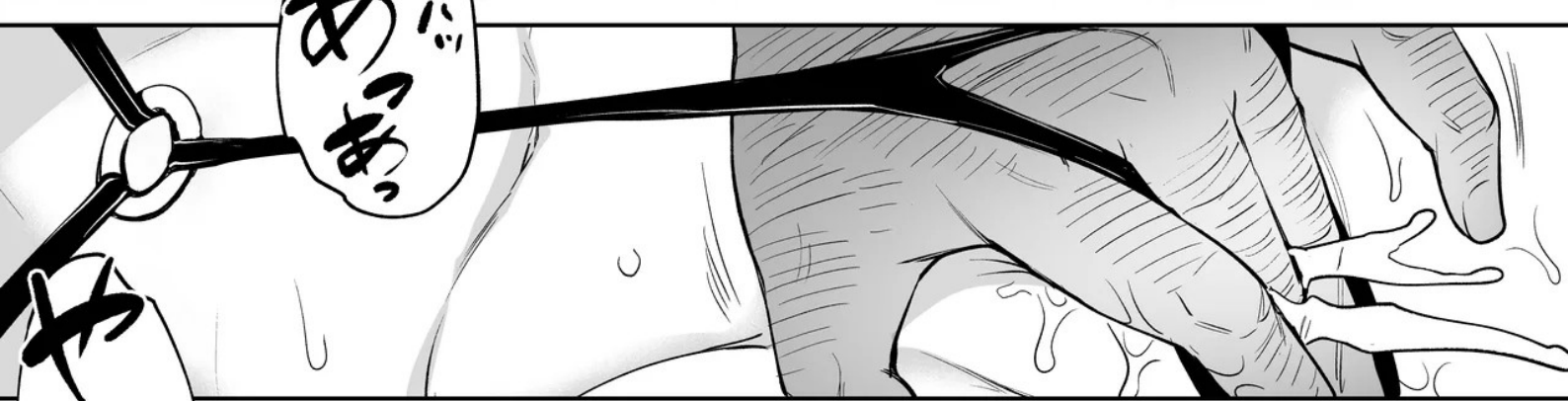
旦那にする様に
舌を味わえ



俺の唾を飲めっ



そうだ...





待っ...

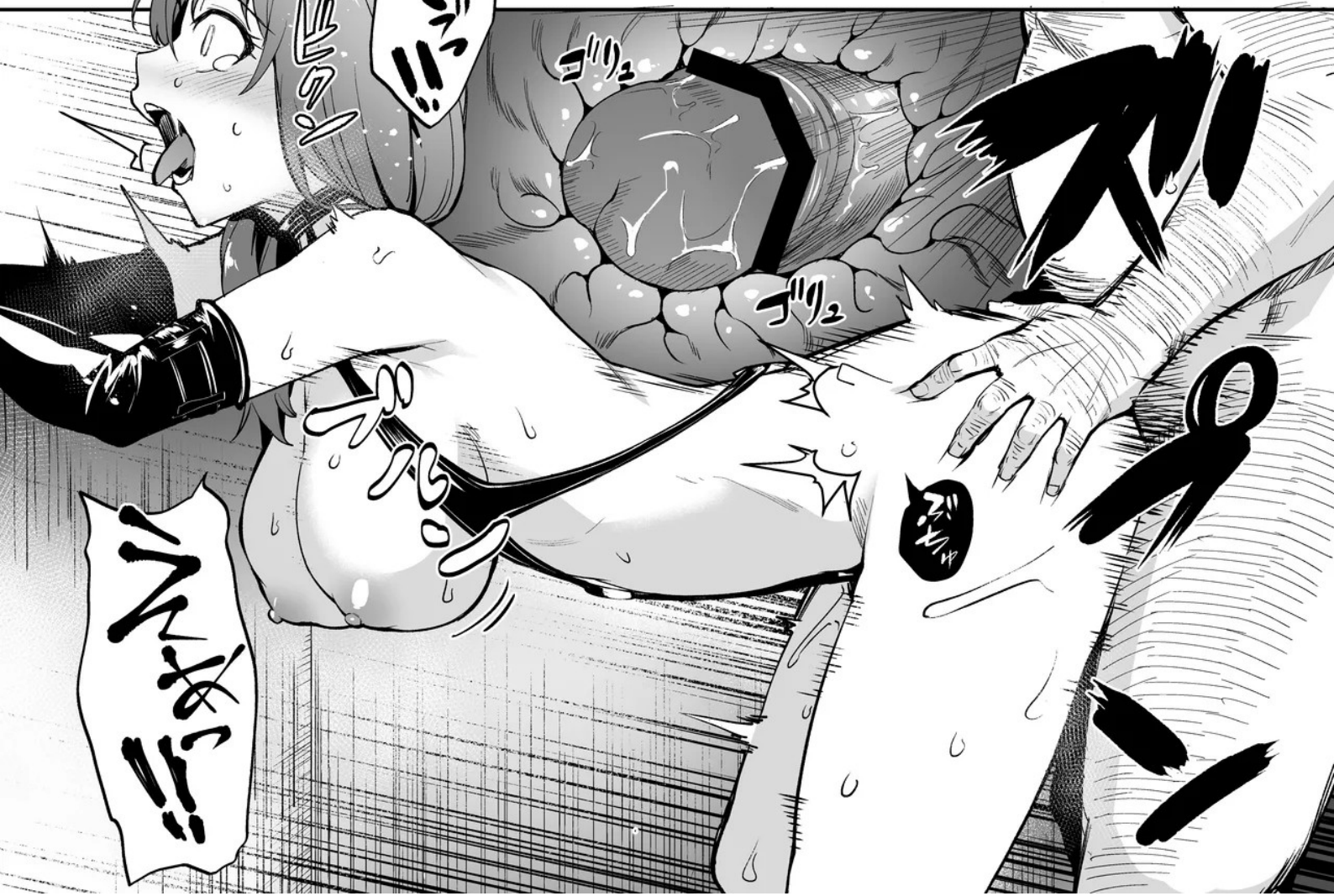


今日はいいだ

こんな場所...
誰かに見られ...

ここは最上階だ
この時間に見る奴は
いないだろう

さっさとケツを
こっちに向ける



バツ!!!



こっ…こんなの
私壊れちゃう…!!

ハアッ

ハアッ



カク

ガク

女
ッ

は
ッ

女
ッ

びん

びん

おっ?
感じてきた
みたいだな?

違…う…っ
誰が…ッ

アンタの
なんか…でっ

女
ッ

お
ッ

この辺りの
住人にお前の声を
聞かせてやれ

おっ
おっ

おいおい遠慮
するなよ...

フンッ!

俺のは旦那より
大きいだろう?

や...ダメ...
これ...っ

おっ
おっ

パチュ
パチュ

パチュ
パチュ

ガッガッ
ガッガッ



しょうが
ねえな...

あの...せめて
部屋の中で...

ざりゃう

あ...
えん...
ミ...

め
ちゅ



あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

お前はコレが
好きだったな



クニ

クニ

ドク
クニ

クニ

クニ

クニ

クニ

クニ

クニ

クニ

クニ

クニ



はぁッ

待って…!!
今動かないで…っ!

いったのも
久々ののっ…!!

そうかっ
じゃあ存分に
イかせてやろう

やっ…!!
ほんとっ無理っ
ダメだから!!



またイク!!
イっちゃう!!

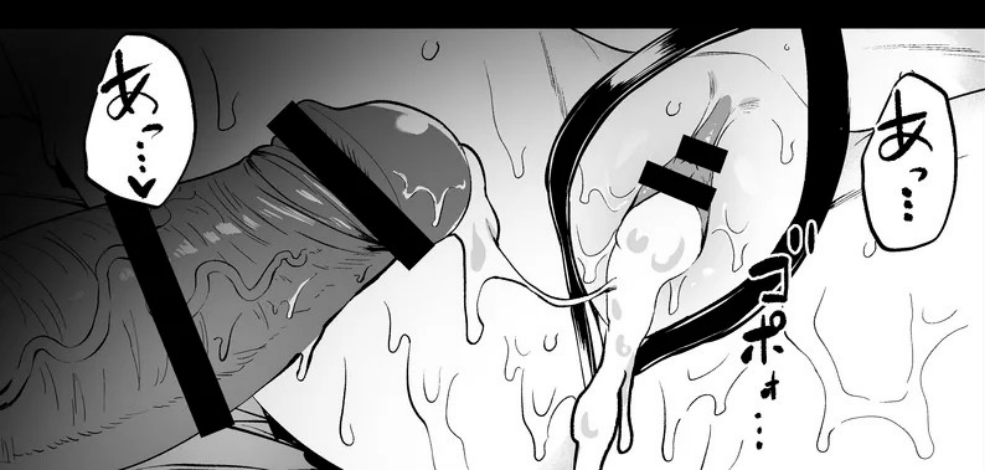
あッあッあッ

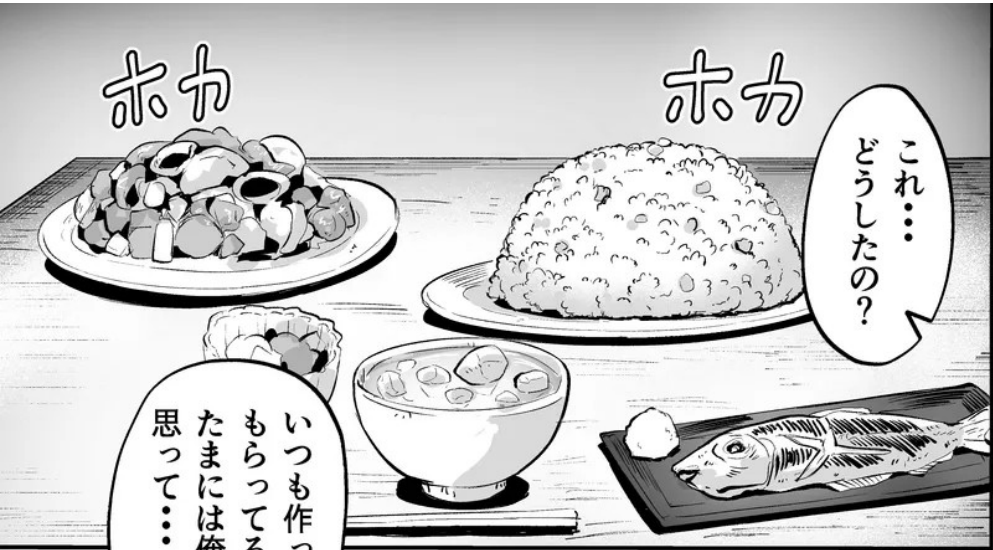
あッ

びっ

ぐっ







これ...
どうしたの？

いつも作って
もらってるから
たまには俺が
思ってる...



ただいま...

おかえりー



奏みたい
に上手く
できなくて...

ホリ
ホリ



あれ...？

どっ...どうした!?!
そんな泣く程だった!?!

ううん...
違う...

違うの...



やっぱり...
最低なのは
私だ...



味はまあまあだと
思うんだけど...

ぽろ
ぽろ